スペイン・ラテンアメリカ通信

第１５号

京都外国語大学外国語学部スペイン語学科編

本誌はスペイン語とスペイン語圏の文化･社会･歴史の専門家が、スペイン語を学ぶ高校生や大学生に向けて発信するアカデミック情報誌です。

スペイン語圏の世界遺産　A～D は世界遺産に指定されているスペインの都市や建造物です。それぞれの名称は①～④のどれですか？（答えは８頁）

① ビスカヤ橋（ビルバオ）

② タラゴナの考古遺産群

③ オビエド歴史地区とアストゥリアス王国の建造物群

④ ウベダとバエサのルネサンス様式の記念碑的建造物群



(A)カタルーニャ州



(B)アストゥリアス州



(C)バスク州



(D)アンダルシア州

メキシコ大統領も熱狂するBTSの活躍

BTS が４年ぶりに「復活」を果たした。現在ワールドツアーの真っ最中である。この記事を書いている５月中旬、アメリカ合衆国でコンサート中であるが、５月７日、９日、10 日の３日間、メキシコシティのスタジアム GNP Seguros でコンサートを開催した。同じ会場では、2025 年 12 月に Bad Bunny がメキシコで８公演を行っている。レゲトンと K-Popのいずれが人気で、経済効果が高いかが興味深いところである。

今回のBTSの３公演による経済効果は18億6100万ペソ、総動員は 15 万人であった。うち、入場料収入は 15 億 2900 万ペソであり、残りは宿泊、交通、飲食、観光などの周辺産業への波及効果である。また、BTS が Spotify で 6 億 600 万回再生されており、世界１位である。最新アルバム『ARIRANG』の再生は初週だけで 7590 万回を記録し、世界第３位となった。これらの数字から、BTS がメキシコ経済にもたらす恩恵の大きさを理解することができる。

一方、Bad Bunny は 2025 年 12 月の８公演で、32 億 2800 万ペソの経済効果、動員数は 48 万人以上であった。公演数が異なるため、１公演あたりに換算すると、Bad Bunny は 6 万 2500 人、BTS は 6 万人であり、人気は互角といえる。

ここで注目すべきことは、客観的な経済効果だけなく、主観的な「価値」(valor)である。レゲトンでは、Bad Bunny が近年メッセージ性の高い歌詞を発表しているものの（例えば、「NuevaYok」ではトランプの不法移民の国外追放を批判している）、全体としてはプエルトリコ特有の隠語が多く、歌詞内容において理解不能な部分も少なくなく、スペイン語圏の幅広い世代に受け入れられているとは言い難い。しかもレゲトンの歌詞のテーマは恋愛や性が中心で、社会的メッセージ性は強くない。Daddy Yankee の初期の作品には社会や政治風刺が見られたが、彼を世界的に有名にさせたのは、2004 年の性的隠語を用いた「Gasolina」である。「Somos de Calle」(2008) に見られる社会批判や犯罪・麻薬の問題は、近年のダディーのレゲトンからは姿を消し、代わりに踊りやすいリズムと反復的なフレーズによる pegajoso（耳に残る）な音楽が主流となっている。ラテン社会においてダンスは共通文化であり、強いビートの電子音楽は聴く者・踊る者の脳を刺激する。BTS もこうしたレゲトン調のリズムも取り入れ、若者の心をつかんできた（「血、汗、涙」など）。

では、言葉の障壁があるにもかかわらず、アジアのアーティストである BTS がどのように世界進出し成功を収めたのか。その理由として、いくつかの点が挙げられる。

第1に、BTS はデビュー当初から世界市場を視野に入れて戦略的な育成を受けてきたことである。韓国の国家的支援に加えて、SNS が 2010 年代から 20 年代にかけて急激に普及し、発展途上国を含む若年層のファンを獲得した。2013 年のデビュー時から韓国語と英語を中心に、日本市場向けには日本語も取り入れ、歌詞内容を伝えることを重視した。英語のフレーズは世界の若者の記憶に残りやすい。BTS の高い歌唱力とパフォーマンスは国際的な評価を得ている。

第2に、ARMY と呼ばれる BTS のファン組織は世界に存在しているが、特にメキシコの ARMY は結束力が高く、SNS を通じて情報発信や宣伝を積極的に行い、コンサートやイベントの際に、ステッカー、ポスター、キーホルダーなどの BTS のグッズを交換しながらコミュニティを強化している。この意味では、Bad Bunny のファン層を上回るエネルギッシュさが見られる。

第3として、メキシコ政府の後押しがあったことである。メキシコには数百万ものBTSファンがいるとされるが、3日間の公演で収容できる人数は 15 万人にすぎない。そこで、メキシコ初の女性大統領であるクラウディア・シェインバウムは、2026 年1月の時点で、韓国のイ・ジェミョン大統領へ公演延長を要請した。最終的に米国を含む北米公演の日程は確定しており、延長は実現しなかったものの、韓国政府の配慮により５月6日にはBTS はメキシコ大統領府（Palacio Nacional）に招待された。独立記念日に大統領が「ビバ・メヒコ」（メキシコ万歳）と国旗を振って大きな声で叫ぶ、まさに大統領府の、あのバルコニーにBTS のメンバーが登場するという情報が SNS で拡散され、チケットが入手できなかったファン5万人がわずか５時間でBTSを一目見ようとソカロ（憲法広場）に集まったという。シェインバウム大統領はその場で BTS のメンバーに 2027 年のメキシコ公演を直談判し、BTS から快諾を得ることができた。記者会見でも BTS のメンバーの「素朴」で「謙虚」な態度に好印象を

受けたことを明らかにした。また、1年半に及ぶ兵役を終えての復活コンサートの開催と、来年のメキシコ公演を約束してくれたことにもふれ、その実現に向けて大統領自身も関与していく考えを示した。同時期、歴史認識をめぐりメキシコとスペインの間で大きな論争が続いているなか、BTS の話題はメキシコに明るい空気をもたらす象徴的な出来事となった。



https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/5/54/Claudia_Sheinbaum_y_BTS_en_Palacio_Nacional.jpg

（写真中央の女性がクラウディア・シェインバウム現メキシコ大統領）

牛島万（うしじま　たかし／歴史学）

スペイン語の慣用句

身体部位を指す名詞と前置詞を組み合わせた慣用句として、以下のものがあります。

a mano	「手製の、手作りの」
a dedo	「独断で、一存で」
a ojo	「目分量で」
a pie	「歩いて、徒歩で」
de pie	「立ったままで」
de boca	「口先だけで」
de cara	「正面から、まともに」
cara a cara	「面と向かって」
de corazón	「心から」
por cabeza	「一人当たり」

増大辞も奥深い！

¡Hola a todos! みなさん、こんにちは。スペイン語の学習はいかがでしょうか。さて、今回は前号で話題にした縮小辞に引き続き、増大辞を取り上げたいと思います。「増大辞」とは読んで字のごとく「標準よりも大きいもの」を表す語尾です。つまり縮小辞の反対です。しかし、語尾の種類は縮小辞ほど多くなく、-ón, -ote, -azo が代表的です（女性形の-ona, -ota, -aza というのもあります）。たとえば「居間、リビング」のことを sala といいますが、それに増大辞を付けた salón という語もあり、「大広間」や「公共施設などのホール」を指します。たしかに、増大辞を付けることで意味が若干大きくなっていますね。バスケットボールで使用するような「大型のボール」のことを balón といいます。これも語尾が-ón ですから増大辞です。元になる語は bala で、「弾丸」のことです。なお、競技種目としての「バスケットボール」は balón と cesto（かご）を併せた複合語で baloncesto といいます。そういえば、英語で「気球」のことを balloon といいますが、これはスペイン語の balón と同じ語源です。

それではクイズをやってみましょう。次の表の 7 語に増大辞を付けると少し意味が変化します。辞書を引かずに意味を推測してください。ヒントは元の単語の拡大版です。

1	hombre　男	→ hombrón
2	cuchara　スプーン	→ cucharón
3	caja　箱	→ cajón
4	tela　布	→ telón
5	noticia　ニュース	→ notición
6	ave　鳥	→ avión
7	fuego　火	→ fogón

正解は、「1.大男」「2.大さじ、おたま」」「3.引き出し」「4.幕」「5.ビッグニュース」「6.飛行機」「7.コンロ、かまど、炉」です。

少し変わった例もあります。「質問」のことを pregunta といいます。これに増大辞を付けた preguntón とは一体何のことだか想像できますか。質問が大きくなる？―それは「根掘り葉掘り何でも質問したがる人、詮索好きの人」のことをや

や皮肉を込めて指す語です。

さて、この増大辞は時として形容詞に付くこともあります。今度は「簡単な」を意味する fácil という形容詞を facilón と言い換えてみましょう。「簡単」が大きいのだから「とても簡単な」という意味？―惜しいです。増大辞は単に標準より大きいことを表すだけでなく、大きいがために「過度な状態」や「ぎこちなさ」というマイナスの評価を加えることがよくあるのです。つまり、facilón は「簡単すぎて物足りない状態」を指すと考えてください。俗っぽい日本語に訳すなら、「楽勝の」や「余裕の」といったところでしょうか。

-ote/-ota という別の増大辞は、「大きい」というよりも「滑稽（こっけい）、悪辣（あくらつ）」といったあまり好ましくないニュアンスを加える働きがあります。たとえば、amigo（友人）に-ote を加えた amigote は「悪友」というニュアンスになります。また、palabra（ことば、単語）に-ota を付けた palabrota という語は「悪口、悪態」です。

もうひとつ、-azo についても触れておきましょう。こちらは「大きい」の意味なのですが、外観の大きさよりもむしろ「内面的な大きさ」や、場合によっては「内面から漲（みなぎ）る大きな力、パワーアップ」を表します。たとえば、puño という語があります。意味は「こぶし」です。ここに-azo を追加した puñetazo といえば「こぶしによる大きな力 = パンチ、げんこつ」のことになります。同類の例として martillazo という語があります。もとの単語は martillo でこれは「ハンマー、金槌」です。そのため、“dar martillazos”という慣用句はハンマーでトントン打つ動作を表します。

最後にもう一問クイズを出しましょう。bueno はもちろん「良い(人)」ですね。ここに、-azo を足してみてください。すると buenazo が出来上がります。さて、意味は？「良い人がパワーアップした状態」とは？

―答えは「お人好し(な人)」でした。

岡本信照(おかもと しんしょう／スペイン語史)

スペイン語のことわざ

Echar margaritas a los puercos.

豚に真珠を与える。

→猫に小判

スペイン語の回文

「回文」をご存じでしょうか？これは俗にいう「左から読んでも右から読んでも同じ語句や文」のことです。日本語なら「竹藪焼けた」「ダンスが済んだ」のような古典的なものから、「追試いつ？」「夜すき焼きするよ」「新幹線沿線監視」のようなどこかで誰かが実際に言っていそうなものまで様々です。スペイン語にも回文はあり、palíndromo といいます（英語は palindrome です）。oro(金)、rajar(裂く)、reconocer(認識する)など単語１語のものもあれば、“yo soy”(私は～である)、“yo doy”(私は与える)、“a la sala”(リビングへ)、“luz azul”(青い光)、“ojo rojo”(赤い目)のように多くの人が普段無意識に使っているであろう語句が自然と回文になっているものもあります。中には“oso mimoso”(甘ったれの熊)や“ala mala”(悪い翼)のようなナンセンスな回文もあります。日本語にも、「関係ない喧嘩」、「役に立つ肉屋」、「寝息大きいね」のようなナンセンスものがあるのと同じです。

次は、一見自然なスペイン語が回文になっている例です。

Yo hago yoga hoy.

(今日私はヨガをする。)

Allí ves Sevilla.

(あそこにセビリャが見えるよね。)

Ana lava lana.

(アナはウールを洗う。)

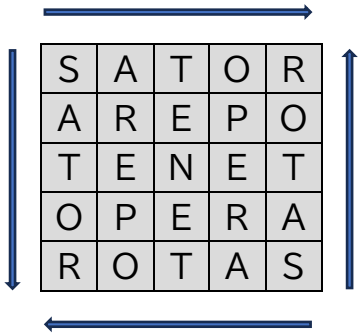
La ruta nos aportó otro paso natural.

(その経路は私たちに自然な別の通り道をもたらした。)

さて、この回文ですが、「所詮は他愛のないことば遊びにすぎないのでは？」という声がどこからともなく聞こえてきそうです。実は私自身も長年そう思っていました。しかし、あるとき、回文はいつの時代から存在するのだろうかと、ふと思って調べてみたところ、古くは古代ギリシア・ローマ時代にまでさかのぼることが分かりました。そこで知ったのがラテン語（＝スペイン語の元となる古代ローマの言語）の次の回文です。

Sator Arepo tenet opera rotas.

［サトール・アレッポ・テネット・オペラ・ロタース］と発音し、確かに右から読んでも同じになりますね。直訳すると「農夫（sator）のアレッポ（Arepo）が車輪（rotas）での仕事を（opera）を持っている（tenet）」になりますが、意味については「農夫アレッポは車輪を巧みに操る」という解釈も可能なようです。ところが、これは話がそこで終わりません。今度はこの文に使われている 5 語を積み上げてみましょう。これを矢印に沿って左から右、上から下、さらには右から左、下から上に読んでみてください。



何と！すべて同じように読めるではありませんか！まさに二次元の回文です。これは今から約 2000 年前に存在していた碑文で、あまりの完璧さから「SATOR スクウェア（square）」と名づけられ、世界的に有名になりました。ヨーロッパ各地のもともと古代ローマ帝国の領土だった場所のいくつかで発見されており、複数存在することが確認されています。回文は左右対称であることから、古代ローマでは秩序と調和の象徴とする考え方がありました。つまり縁起が良いということですね。そのため、この「SATOR スクウェア」は魔除けとして使用されていたという説があります（ただし異説もあるようです）。

今度は話題をスペイン語に向けてみましょう。世の中には回文に凝るあまり、とうとうそれで詩集を出版した人がいるのです。作者はダリーオ・ランシーニ（Darío Lancini, 1932-2010）というベネズエラの詩人で、その詩集本の表題は“Oír a Darío”。これを右から読んでみると…、やはり左右対称になっていますね。意味は「ダリーオ（の声）を聞け」。本の題名も回文になっていて、しかも自分の名前を取り入れているという徹底ぶりです。そこに収録された回文詩の一部を引用します。最終行の末尾から読んでも、文字の配列が同じであることを自分の目で確かめてください。

¡Salta la ola famosa! Rameras, oíd: «yo soy yo.»
Habla la ramera: «¡A remar!» Ares une varios odios.
Usa sus ojos, usa sus edades, aloja bajo las Eras.
Oídle:
¡A remar! Al oírnos emerge la ola famosa.
Ramera diosa, tu piel leí: ¡Putas, oíd!
A remar.
¡Asoma falo alegre! Me sonrió la ramera.
El dios Ares aloja bajo las Edades.
Usa sus ojos, usa sus oídos.
Oirá.
¡Venus era ramera!
A remar. Al alba hoy yo soy dios.
A remar. ¡Asoma falo al atlas!

ラテン語の「SATOR スクウェア」といい、ダリーオ・ランシーニの詩といい、回文もここまでくると、もはや芸術の域に達していると言えます。

岡本信照（おかもと　しんしょう／スペイン語史）

スペイン語を公用語とする国々

スペイン語圏（el mundo hispánico）とはどこを指すのでしょうか。それはスペイン語を公用語としているおよそ 20 の国と地域のことです。EU でスペイン語を公用語とする国はスペインだけですが、ラテンアメリカでは 18 ヶ国が該当します。これらは 16 世紀以降スペインの植民地になった地域で、その大半が 19 世紀前半に宗主国から独立しました。アフリカにも 1 ヵ国だけスペイン語の公用語国があります。赤道ギニアです。また、独立国ではありませんが、カリブ海に位置するプエルトリコもスペイン語圏に含まれます。ここは米国の自治領であり、英語とスペイン語が公用語になっています。次に、スペイン語を公用語とする国（および地域）を人口の順に一覧表にしてみましょう（表 1）。スペイン語名の表記およびその形容詞形、それから首都も掲げておきます。

国　名	国名の形容詞形	人口 2026(端数切捨て)	首　都
メキシコ México	mexicano mexicana	1 億 3299 万人	メキシコシティ Ciudad de México
コロンビア Colombia	colombiano colombiana	5328 万人	ボゴタ Bogotá
スペイン España	español española	4785 万人	マドリード Madrid
アルゼンチン Argentina	argentino argentina	4600 万人	ブエノスアイレス Buenos Aires
ペルー Perú	peruano peruana	3492 万人	リマ Lima
ベネズエラ Venezuela	venezolano venezolana	2863 万人	カラカス Caracas
チリ Chile	chileno chilena	1994 万人	サンティアゴ Santiago de Chile
グアテマラ Guatemala	guatemalteco guatemalteca	1896 万人	グアテマラシティ Ciudad de Guatemala
エクアドル Ecuador	ecuatoriano ecuatoriana	1844 万人	キト Quito
ボリビア Bolivia	boliviano boliviana	1274 万人	ラパス(スクレ*) La Paz (Sucre)
ドミニカ共和国 República Dominicana	dominicano dominicana	1160 万人	サントドミンゴ Santo Domingo
ホンジュラス Honduras	hondureño hondureña	1118 万人	テグシガルパ Tegucigalpa
キューバ Cuba	cubano cubana	1089 万人	ハバナ La Habaná
ニカラグア Nicaragua	nicaragüense nicaragüense	709 万人	マナグア Managua
パラグアイ Paraguay	paraguayo paraguaya	709 万人	アスンシオン Asunción
エルサルバドル El Salvador	salvadoreño salvadoreña	639 万人	サンサルバドル San Salvador

* スクレは憲法上の首都で、事実上の首都がラパスです。

コスタリカ Costa Rica	costarricense costarricense	517 万人	サンホセ San José
パナマ Panamá	panameño panameña	462 万人	パナマシティ Ciudad de Panamá
ウルグアイ Uruguay	uruguayo uruguaya	338 万人	モンテビデオ Montevideo
プエルトリコ Pueto Rico	puertorriqueño puertorriqueña	322 万人	サンフアン San Juan
赤道ギニア Guinea Ecuatorial	guineano guineana	198 万人	マラボ Malabo

表 1：スペイン語を公用語とする国と地域についての基礎データ

（人口データの出典は www.worldometers.info/ja/、端数切捨て）

2026 年現在で世界のスペイン語母語話者数はおよそ 5 億 2 千万に達したと言われていますが、そのうちの約 25%を占めるのがメキシコです。首都のメキシコシティは 2 千 2 百万人の人口を擁する世界有数のメガシティです。16 世紀にスペイン人が到来するまで、この地は「テノチティトラン」と呼ばれるアステカ王国の首都でした。スペイン人による征服後、ここが植民地統治の中心都市となり、大きく発展しました。この「メキシコ」（スペイン語の発音は［メヒコ］です）という地名はアステカ人の言語であるナワトル語が元になっています。他に「グアテマラ」「キューバ」「ペルー」「パラグアイ」「ウルグアイ」などの国名も、ヨーロッパ人がアメリカ大陸に到来する前から住んでいた先住民族の言語が起源です。

一方、スペイン語による地名もあります。たとえば、「コロンビア」は、新大陸へ初めて到達した歴史上の人物コロンブスにちなんでいます。「ボリビア」も元は人名で、南米の独立運動を指導した英雄シモン・ボリバルに由来します。「ベネズエラ」の語源も面白いです。最初に現在のベネズエラに到来したスペイン人が、マラカイボという湖に建てられた先住民の集落を見て、「まるでイタリアのベネチア（Venecia）だ」と感じました。そこで「小さなベネチア」の意味で、Venecia に縮小辞-zuela を付けて出来た地名が Venezuela というわけです。「エルサルバドル」「コスタリカ」「エクアドル」「プエルトリコ」などの地名もスペイン語です。よかったら意味を調べてみてください。

岡本信照（おかもと　しんしょう／スペイン語史）

【読書案内】『小鳥たち―マトゥーテ短篇選』



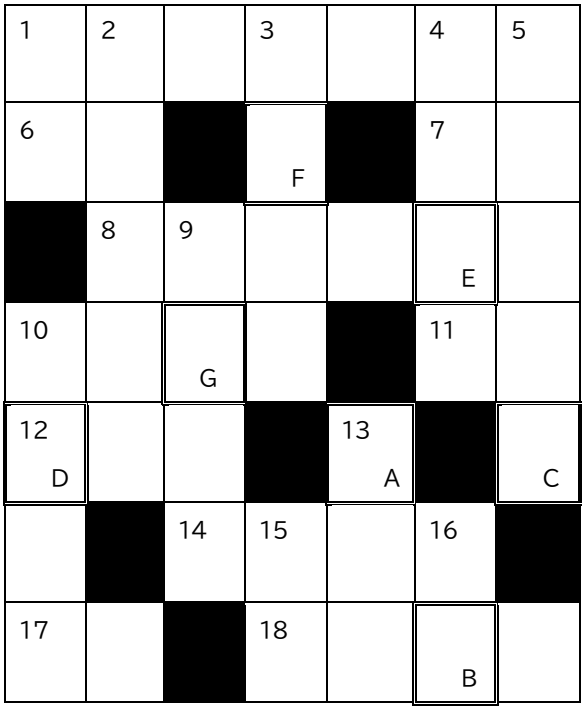
アナ・マリーア・マトゥーテ著、宇野和美訳、東宣出版、2021 年、全 258 頁

現実と幻想が交錯する不思議な、しかし魅力的な短篇が 20 以上集められたアンソロジー。ここに収められた作品のほとんどには、弱者の眼差し、特に子どもの眼差しが貫かれている。著者自身が「短篇小説とは散文における詩のようなもの」と述べているとおり、小説といより詩を読んでいるような感覚を抱いてしまう。まさに珠玉の小品集。

CRUCIGRAMA 15

1 マスに大文字 1 字を記入してください。CH, LL, RR は 2 文字扱いです。アクセントつきの母音(Á, É, Í, Ó, Ú)とアクセントなしの母音は別の文字とします。二重線の A～G を並べ替えてできたスペイン語単語を当ててください(答えは次号)。

(出題／岡本信照)



タテのかぎ (VERTICAL)

1. Hablamos ____ español.「スペイン語で話そう。」
2. 「椅子」。
3. 「爪」の複数形。
4. 「忠実な、誠実な」という意味の形容詞。
5. 「ロバ」の複数形。俗語で「愚か者」の意味にもなる。
9. abrigo de ____とは「ウール(羊毛)のコート」のこと。
10. ¿Tú ____ el perro a ese árbol?「君は犬をその木につないでおくの？」:「結ぶ、縛る」の現在形 2 人称単数。
13. Estoy aquí un ___ de días.「私はここに 2･3 日いる。」
15. ¿____ esperas?「私を待っていてくれる？」
16. ¿Cómo ____ llama usted?「お名前は？」

ヨコのかぎ (HORIZONTAL)

1. Los niños van a la ____.「子供たちは学校へ行く。」
6. No tengo ____ idea.「私にはさっぱり分からない。」
7. ¿Cuál ____ tu afición?「君の趣味は何？」
8. ____ a la puerta.「誰かがドアをノックしている。」
10. 「翼」の複数形。
11. ¿Lees este libro? – Sí, ____ leo.
12. Eso no es ____ difícil.「それはそんなに難しくない。」
14. Tú ____ a los gatos, ¿no?「君は猫を愛しているね。」
17. Aquí está usted en ____ casa.「どうぞごゆっくり。」
18. ¿De dónde ____ tú? – Soy de Japón.

A～G を並べると?

A	B	C	D	E	F	G

CRUCIGRAMA 14 (第 14 号)の解答

G	R	A	N	D	E	S
L	E	Y	■	U	N	O
O	J	E	A	R	■	L
B	A	R	C	O	S	■
A	S	■	A	■	O	S
L	■	A	B	A	J	O
■	O	L	A	■	A	Y

A～I の答え : BARCELONA「バルセロナ」

―1 頁の世界遺産クイズの答え―

(A) ②　(B) ③　(C) ①　(D) ④

今回の記事執筆者(掲載順)

牛島万(京都外国語大学教授)

岡本信照(京都外国語大学教授)

スペイン・ラテンアメリカ通信　第１５号

2026 年 6 月 15 日発行

発行者：京都外国語大学外国語学部スペイン語学科

〒615-8558　京都市右京区西院笠目町 6

URL. https://www.kufs.ac.jp

E-mail. s_okamot@kufs.ac.jp

京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies